

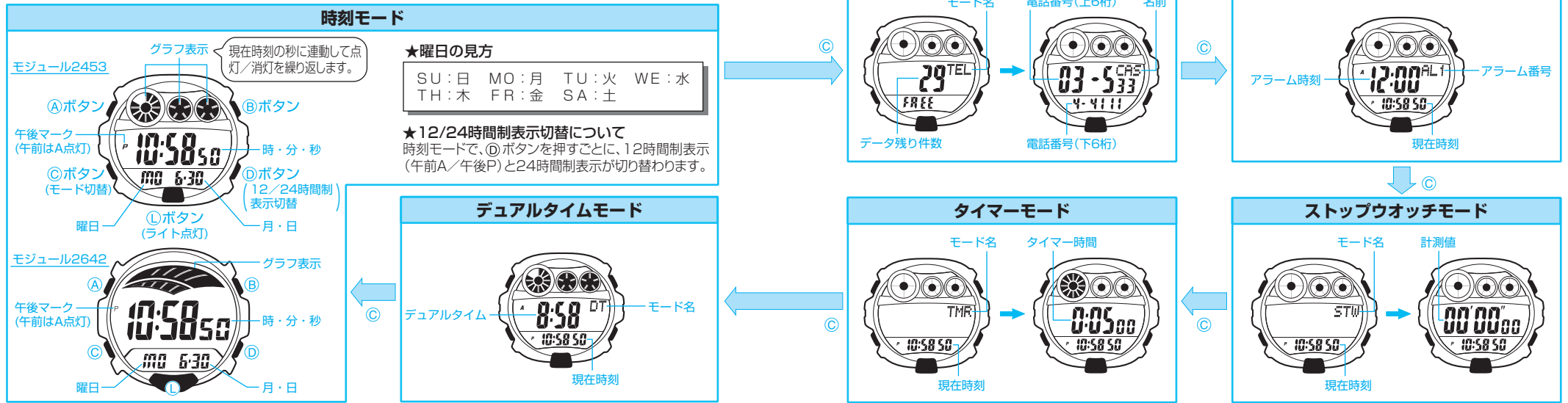
操作のしくみと表示の見方

※機種により形状は異なります。

※表示例はモジュール2453を使用しています（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）。

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※テレメモモードのまま2～3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。



デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では自動的に色が切り替わって表示し続けます。



●デモ表示の解除

いずれかのボタンを押します。

※◎・①・②ボタンを押した場合、デモ表示の解除と同時に、各ボタン本来の機能(モード切替、12/24時間制表示切替、ライト点灯)も作動します。

※デモ表示解除後、表示の色は工場出荷時の状態になります。「カラー表示切替について」参照

●デモ表示の設定

◎ ボタンを約2秒間(確認音が鳴るまで)押し続けます。

ライト点灯について

どのモードのときでも、⑥ボタンを押すと約2秒間文字版が発光します。

⇒暗いところでも、表示を見ることができます。



<ご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中に⑥ボタン以外のボタンを押したり、アラームなどが鳴ると発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

カラー表示切替について

本機は、カラーの2層液晶を使用しており、表示の色を切り替えることができます。(全12パターン)以下の操作で、好きな表示を選んでください。

※表示例は白黒で記載しています。なお、セット状態で表示が点滅しているときは、点滅箇所を青色で記載しています。

(1)セット状態にする

時刻モードのとき、①ボタンを約2秒間押します

⇒「秒」が点滅します。



(2)カラー表示切替にする

◎ボタンを7回押します

⇒「COL」が点滅します。



(3)表示を選ぶ

⑩または⑪ボタンを押します

⇒⑩または⑪ボタンを押すごとに表示の色が切り替わります。12パターンの中から、好きな表示を選んでください。

※⑩・⑪ボタンとも、押し続けると早送りします。



(4)セットを終わる

①ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

テレメモの使い方 ◎ ボタンを押して、テレメモモードにします。

テレメモモードでは、名前（8文字）と電話番号（12桁）のデータを最大30件メモリーできます。

※テレメモモードに切り替えると、モード名（TEL）とデータ残り件数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート*）が行われます。

*自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（. -）の順で自動的に整理されます。

データのサーチ

テレメモモードのとき、**①** または **②** ボタンを押します

⇒ **①** ボタンを押すごとにデータが順番に進み、**②** ボタンを押すことに戻ります。

※ **①**・**②** ボタンとも、押し続けると早送りします。

※名前が4文字以上のときは、右から左に流れて表示されます（名前の最後に「◀」マークがつきます）。



データを入力する

(1) 空きページを選ぶ

テレメモモードのとき、**①** または **②** ボタンを押して、空きページを表示させます

※ 空きページは入力してあるデータの最後に表示されます。

※データがすでに30件メモリーされているときは、不要なデータを消去しておいてください。（「データを消去する」参照）

(2) セット状態にする

A ボタンを約2秒間押します

⇒名前部1桁目が点滅します。

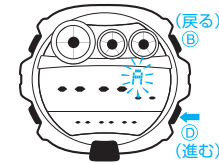


(3) 点滅箇所のセット

① または **②** ボタンを押します

⇒ **①** ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、**②** ボタンを押すことに戻ります。

※ **①**・**②** ボタンとも、押し続けると早送りします。

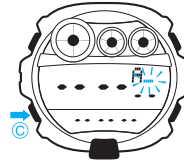


(4) セット箇所を選ぶ

C ボタンを押します

⇒ **C** ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目～8桁目→電話番号部1桁目～12桁目→名前部1桁目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

※押し続けると点滅箇所が早く移動します。



※名前部の入力がすべて終わりましたら、**C** ボタンを押して点滅箇所を電話番号部に移動させます。



(3)～(4)の操作を繰り返して、データを入力していきます。

※名前は最大8文字、電話番号は最大12桁まで入力できます。

※入力できる文字は、名前部セットのときは（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（. -）で、電話番号部セットのときは、0～9、（空白）です。

(5) セットを終わる

A ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※続けて他のデータを入力するときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行ってください。

データを修正する

(1) **①** または **②** ボタンを押して修正したいページを選びます

(2) **A** ボタンを約2秒間押します

⇒名前部の1桁目が点滅します。

(3) 修正したい部分まで**C** ボタンを押して点滅を送り、**①** または **②** ボタンを押して文字（数字）を修正します

(4) 修正が終わりましたら、**A** ボタンを押します



データを消去する

(1) **①** または **②** ボタンを押して消去したいページを選びます

(2) **A** ボタンを約2秒間押します

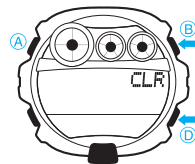
⇒名前部の1桁目が点滅します。

(3) **①** ボタンと **②** ボタンを同時に押します

⇒“CLR”表示後、データが1件消去されます。

※このとき引き続き他のデータを入力することができます。

(4) 消去が終わりましたら、**A** ボタンを押します



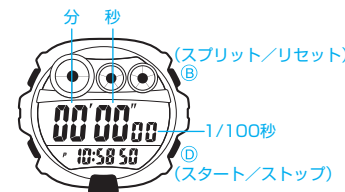
ストップウォッチの使い方 ◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、**D** ボタンを押します

⇒ **D** ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



● 通常計測

D → **D** → **B**
スタート ストップ リセット

<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに**D** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム（途中経過時間）の計測

D → **B** → **B** → **D** → **B**
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

● 1・2着同時計測

D → **B** → **D** → **B** → **B**
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

★計測中に**B** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。（“SPLIT”マーク点灯）

※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後**B** ボタンを押すと、計測値が0に戻ります。（リセット）

アラーム・時報の使い方

◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

■ アラームについて

本機には、5本のアラームがあります。(通常アラーム4本 / スヌーズアラーム1本)

★ 通常アラーム (AL1 ~ AL4)

設定した時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。

★ スヌーズアラーム (SNZ)

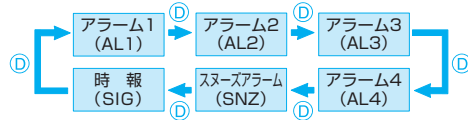
設定した時刻になると20秒間の電子音が鳴り、5分おきに7回音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。

■ アラーム時刻のセット

(1) アラームを選ぶ

アラームモードのとき、**ⓐ** ボタンを押します

⇒ **ⓐ** ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラームを選びます。



■ 設定した時刻の1時間前になると

設定した時刻の1時間前になると、時刻モードで表示の色が1秒ごとに切り替わって知らせてくれます。(プレアラーム機能)

※いずれかのボタンを押すと色の切り替わりが止まります。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

※スヌーズアラームのときは再び鳴り出します。(スヌーズアラーム機能中は“SNZ”が点滅します)

※「■アラームのON / OFF 設定」の手順で“■■■■”と“SNZ”マークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、**ⓑ** ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

(2) セット状態にする

ⓐ ボタンを約2秒間押しします

⇒ 「時」が点滅します。
 ※アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。
 ※通常アラームのときは“■■■■”が、スヌーズアラームのときは、“■■■■”と“SNZ”が点灯します。



(3) セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(4) 点滅箇所のセット

ⓐ または **ⓑ** ボタンを押します

⇒ **ⓐ** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **ⓐ**・**ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送りします。



(3)~(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前(A) / 午後(P)、または24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(5) セットを終わる

ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラームのON / OFF 設定

準備 アラームモードのとき、**ⓐ** ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

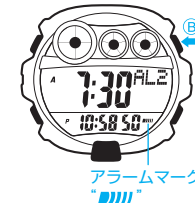
ⓑ ボタンを押します

⇒ **ⓑ** ボタンを押すごとに、アラームのON / OFF が切り替わります。

※マークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。

※通常アラームのときは“■■■■”が、スヌーズアラームのときは“■■■■”と“SNZ”が点灯 / 消灯します。

<アラーム2表示>



<スヌーズアラーム表示>



■ 時報について

毎正時(00分)に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報のON / OFF 設定

準備 アラームモードのとき、**ⓐ** ボタンを押して、時報表示を選びます。

ⓑ ボタンを押します

⇒ **ⓑ** ボタンを押すごとに、時報のON / OFF が切り替わります。

※マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。

<時報表示>



デュアルタイムの合わせ方 ◎ ボタンを押して、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

※デュアルタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■ デュアルタイムの合わせ方

デュアルタイムモードのとき、**ⓐ** または **ⓑ** ボタンを押して、デュアルタイムを合わせます

⇒ **ⓐ** ボタンを押すごとに30分ずつ数字が進み、**ⓑ** ボタンを押すごとに30分ずつ戻ります。

※ **ⓐ**・**ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送りします。

※デュアルタイムは30分単位でセットできます。

※**ⓐ** ボタンを押すと、基本時刻と同じ時刻でセットされます。



タイマーの使い方 ◎ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると10秒間の電子音が鳴ります。

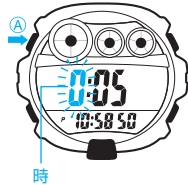
※工場出荷時および電池交換後は、タイマー時間が5分でセットされています。

■ タイマー時間のセット

(1) セット状態にする

タイマーモードのとき、**A** ボタンを約2秒間押します

⇒「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇄「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

D または **B** ボタンを押します

⇒D ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、B ボタンを押すことに戻ります。

※ D・B ボタンとも、押し続けると早送りします。



(2)~(3)の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします。

※タイマー時間を24時間に設定するときには表示を“0:00”にします。

(4) セットを終わる

A ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

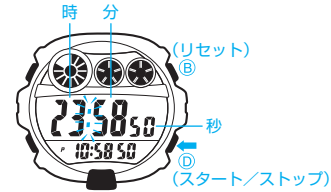
※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方

タイマーモードのとき、**D** ボタンを押します

⇒D ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

※計測は1秒単位で行ないます。



★計測ストップ後B ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは、D ボタンでストップ後、もう一度D ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

時刻・カレンダーの合わせ方 以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■ 「秒」合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、**A** ボタンを約2秒間押します

⇒「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて**D** ボタンを押します

⇒「00秒」からスタートします。
※秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



(3) セットを終わる

A ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ 「時刻・カレンダー」合わせ

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、**A** ボタンを約2秒間押します

⇒「秒」が点滅します。



(2) サマータイム (DST)* のON / OFF を選ぶ

◎ ボタンを押します

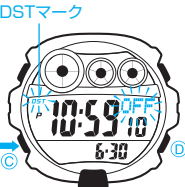
⇒DST マークとON または OFF が点滅します。

D ボタンを押します

⇒ON または OFF が切り替わります。

※ OFF = サマータイム OFF (通常時間)
ON = サマータイム ON (夏時間)

※サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まります。



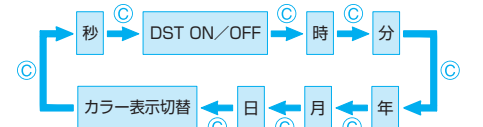
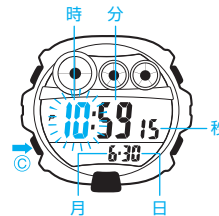
※サマータイムをONにすると、テレメモモード以外の各モードでDSTマークが点灯します。

*サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

(3) 「時刻・カレンダー」合わせ

a. ◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



※カラー表示切替については、「カラー表示切替について」をご覧ください。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

b. **D** または **B** ボタンを押します

⇒D ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、B ボタンを押すことに戻ります。

※ D・B ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.~b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前(A) / 午後(P)、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000~2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4) セットを終わる

A ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。